

矯正・保護総合センター 公開研究会



# 刑務所の“食事”と“Well-being”

## — 健康・尊厳・社会復帰の日英比較 —

本研究会では、イギリスにおける刑務所の食事に関する最新の研究成果を紹介するとともに、日本の刑務所の献立分析の予備的成果を報告します。また、刑務所内の食生活だけでなく、出所後の食生活やWell-beingとの関連にも着目し、今後の日英共同研究の可能性について議論します。

刑務所における「食」を切り口として、健康、人間の尊厳、再犯防止、社会復帰について国際比較の視点から考える貴重な機会です。研究者、実務家、学生、一般市民の皆さまのご参加をお待ちしております。

(矯正・保護総合センター長 浜井 浩一)

### 公開研究会概要

開催日：2026年7月13日（月）17時00分～18時30分（事前申込）

場 所：龍谷大学・深草学舎至心館1Fフリースペース（ハイブリッド開催）

※逐次通訳あり・参加費無料

#### <報告者>

Professor Jonathan Tamnam

(英国/オックスフォード・ブルックス大学/スポーツ・栄養・医療関連専門職学部/教授/栄養健康センター所長)

「Prison Food, Nutrition and Well-being: Perspectives from the United Kingdom (刑務所の食事と栄養そしてウェルビーイング：イギリスにおける視点)」

Dr Shelly Coe

(英国/オックスフォード・ブルックス大学/スポーツ・栄養・医療関連専門職学部/准教授)

「Nutrition in Japanese Prisons: Implications for Prisoner Health and Aging (日本の刑務所における栄養：受刑者の健康と加齢への影響)」

#### <コメンテーター>

Dr. Jason Danelly

(英国/オックスフォード・ブルックス大学/社会科学部/准教授)

浜井 浩一

(龍谷大学/法学部/教授/矯正・保護総合センター長)

申込先：

<https://forms.gle/Bju9HfguCYJ7HEdf6>

申込締切：

2026年7月10日（金）正午まで



Professor  
Jonathan  
Tamnam



Dr Shelly Coe



Dr. Jason Danelly